

## ★県北地域の感染症発生状況（7/8～7/14 福島県感染症動向調査より）

※詳細は「福島県感染症発生動向調査報告」で検索してください。

- 定点把握疾患：咽頭結膜熱、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナの流行が続いています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、RSウイルス感染症の小流行が続いています。
- 全数把握疾患：結核9名、梅毒1名、百日咳3名の報告がありました。

## 今月のトピックス

7月28日は「世界肝炎デー」です！



## ★「C型肝炎」は治せる時代となっています！ 肝硬変や肝がんに進行する前に 早めの検査、早めの治療を！！

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス（HCV）に感染することで発症する肝臓の病気です。HCVに感染すると、約7割が持続的感染者となり、慢性肝炎、肝硬変、肝がんと進行する場合があります。肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状がないまま病気が進むことがあります。

現在日本では、約100万人のHCV感染者がいると考えられており、その中には感染が不明な人や通院していない人が多いと言われています。また、慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者の約6割がHCV感染者であり、年間約3万人が肝がんにより亡くなっています。

C型慢性肝炎の最も根本的な治療は、HCVを体内から排除することです。治療法が進歩し、飲み薬で95%以上の方がHCVを体内から排除することが可能となっています。

まだ、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、早めに検査を受け、HCVの感染がわかれば、症状がなくても必ず詳しい検査（精密検査）を受け治療を含めて対処を検討する必要があります。

※「ウイルス性肝炎」の情報は下記で検索できます！

検索キーワード「国立国際医療研究センター 肝炎情報センター」

・肝硬変や肝がんになる前に治療することが大切です！

・医療費の助成制度もあります。主治医にご相談を！



### <C型肝炎の感染経路は？>

感染者の血液を介して感染します。

感染経路として考えられているものは、

- ・1992年以前の輸血、1994年以前のフィブリノゲン製剤、1998年以前の血液凝固因子製剤など
- ・十分に消毒をしていない器具を使った入れ墨（タトゥー）やピアスの穴あけ
- ・覚醒剤などの注射器の使い回し

### <肝炎ウイルス検査>

市町村では40歳以上の方を対象に、「肝炎ウイルス検査」を実施しています。40歳以上で肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、お住まいの市町村の健診担当課にお問い合わせください。

市町村の検査が受けられない場合、保健所で検査が受けられます。

- 問い合わせ先：県北保健所 024-534-4113  
(平日 8:30～17:15)

### <夏休みに海外旅行を予定している方へ>

海外には日本ではあまり見られない様々な感染症が流行しています。旅行前に厚生労働省の「夏休みにおける海外での感染症予防について」「FORTH」を検索しご覧ください。帰宅後1ヶ月は健康状態に注意し、変化が見られたときは、受診時、海外旅行後であることを伝えてください。

発行日 令和元年7月18日  
発行元 福島県県北保健所  
医療薬事課  
住所 〒960-8012  
福島市御山町8-30  
電話 024-534-4113  
ホームページ  
検索キーワード 福島県県北保健所